

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 1 区分
 【発行日】 平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】 特開 2004-53491 (P2004-53491A)
 【公開日】 平成 16 年 2 月 19 日 (2004.2.19)
 【年通号数】 公開・登録公報 2004-007
 【出願番号】 特願 2002-213266 (P2002-213266)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 N 1/04
 A 6 1 B 5/107
 A 6 1 B 10/00
 G 0 1 N 33/48
 G 0 1 N 33/50

【F I】

G 0 1 N 1/04 H
 A 6 1 B 10/00 1 0 3 Z
 G 0 1 N 33/48 S
 G 0 1 N 33/50 Q
 A 6 1 B 5/10 3 0 0 Q

【手続補正書】
 【提出日】 平成 16 年 5 月 21 日 (2004.5.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 請求項 2
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【請求項 2】

水溶性の固着剤が、ポリ酢酸ビニル、ポリビニルピロリドン、ポリビニルアルコール、ポリビニルエーテル、ビニルピロリドン・酢酸ビニル共重合体、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ポリアクリル酸及び／又はその塩並びにポリメタクリル酸及び／又はその塩から選択されるものであることを特徴とする、請求項 1に記載の角質細胞採取用具。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 0 0 0 5
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】

【0 0 0 5】

【課題の解決手段】

本発明者らは、この様な状況に鑑みて、体積形状を損なわずに角質細胞を採取する手段を求めて、鋭意研究努力を重ねた結果、水溶性の固着剤を、支持体上に塗工してなる、角質細胞採取用具を用いて、水溶性の固着剤塗工面を湿潤用の水性担体で湿らせ、膨潤させた後、角質細胞の採取部に貼付し、乾燥固化させ、剥離し、固着剤を分散用の水性担体で溶解させ、固着剤に固着された角質細胞を水性担体中に分散手段により分散させることにより、角質細胞の形状を損なわずに角質細胞が採取できることを見出し、発明を完成させるに至った。即ち、本発明は以下に示す技術に関するものである。

- (1) 水溶性の固着剤を、支持体上に塗工してなる、角質細胞採取用具。
- (2) 水溶性の固着剤が、ポリ酢酸ビニル、ポリビニルピロリドン、ポリビニルアルコー

ル、ポリビニルエーテル、ビニルピロリドン・酢酸ビニル共重合体、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ポリアクリル酸及び／又はその塩並びにポリメタクリル酸及び／又はその塩から選択されるものであることを特徴とする、(1)に記載の角質細胞採取用具。

(3) 支持体がフィルムであることを特徴とする、(1)又は(2)に記載の角質細胞採取用具。

(4) (1)～(3) 何れか1項に記載の角質細胞採取用具の水溶性の固着剤塗工面を湿润用の水性担体で湿らせ、膨潤させた後、角質細胞の採取部に貼付し、乾燥固化させ、剥離し、固着剤を分散用の水性担体で溶解させ、固着剤に固着された角質細胞を水性担体中に分散手段により分散させ、水性担体に分散された角質細胞の面積と体積を測定し、該体積を面積で除した細胞の厚さを指標とすることを特徴とする、皮膚の状態の鑑別法。

(5) 分散手段が、プロテアーゼ及び／又は界面活性剤であることを特徴とする、(4)に記載の皮膚の状態の鑑別法。

(6) 更に超音波による分散促進手段を用いることを特徴とする、(4)又は(5)に記載の皮膚の状態の鑑別法。

以下、本発明について詳細に説明を加える。